Card Key System

FS 2011A

2012.4.27
株式会社アイテックス

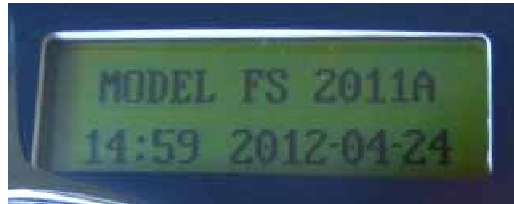
カードキーシステム　MODEL FS 2011A

1 はじめに

本システムをご採用頂きありがとうございます。
FS　2011Aは従来機の後継機との位置付けで、従来機に無い多くの機能を有し、スマートなデザインとなっております。
設置ガイド、操作ガイド、設定ガイドを良くお読み頂き、正しくご使用ください。

2 特徴

液晶表示器を搭載しており動作状況が把握しやすく、特に設定時における操作性は非常に判りやすくなりました。



従来型と同一規格のカードを使用しており、従来のシステムと重複してカードを登録することも可能です。
オプション（別売り）のシリアルケーブルに付属のソフトを使用してカードの設定はパソコンで行い、その設定をカードリーダーに転送することが出来ます。
その場合、設定したカードデーターをパソコンに保存できるので、カードリーダーの故障、破損時等に新しいリーダーを用意してデーターを書き込む事ができ、簡単に再生することが可能となります。

3 一般仕様（カードリーダー）

電源電圧	DC12V（付属のACアダプタより供給）
待機電流	30mA
動作電流	70mA（マグネット錠は含まず）
登録枚数	最大500枚登録可能
重　　量	140g
外形寸法	120×88×21mm
防 滴 性	非対応

4 システム内容



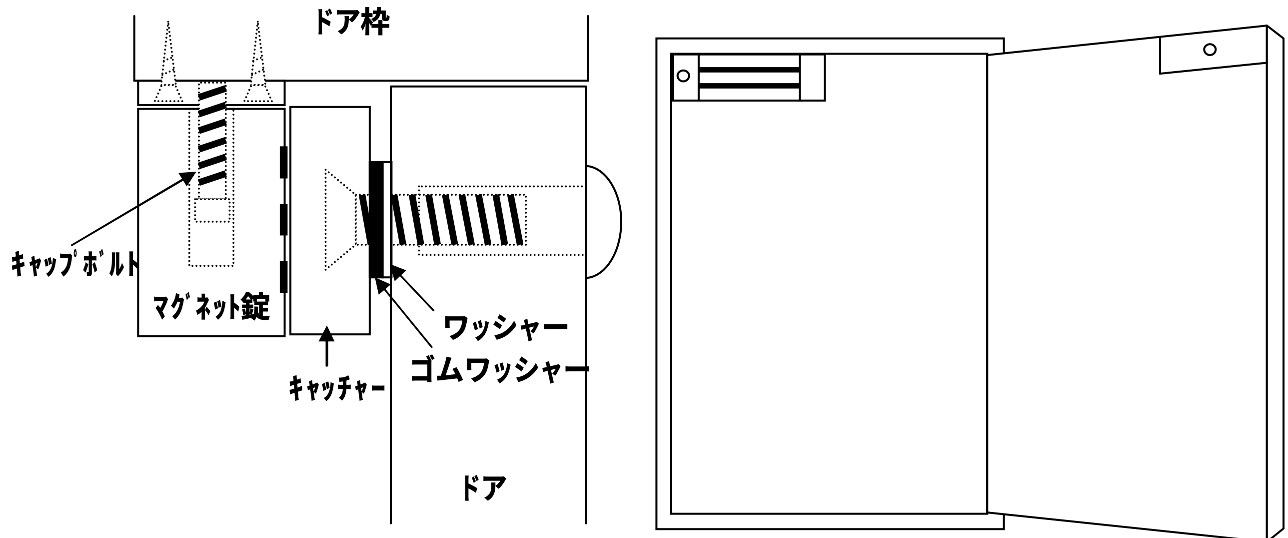
①カードリーダー	FS2011A	1台
②リレーBOX	RL-01	1台
③マグネット錠	MC150H	1台
④開錠スイッチ		1台
⑤ACアダプタ	DC12V 1A	1台
⑥カードキー	厚み1mm（登録済み）	5枚
⑦取扱説明書		1部

5 オプション内容

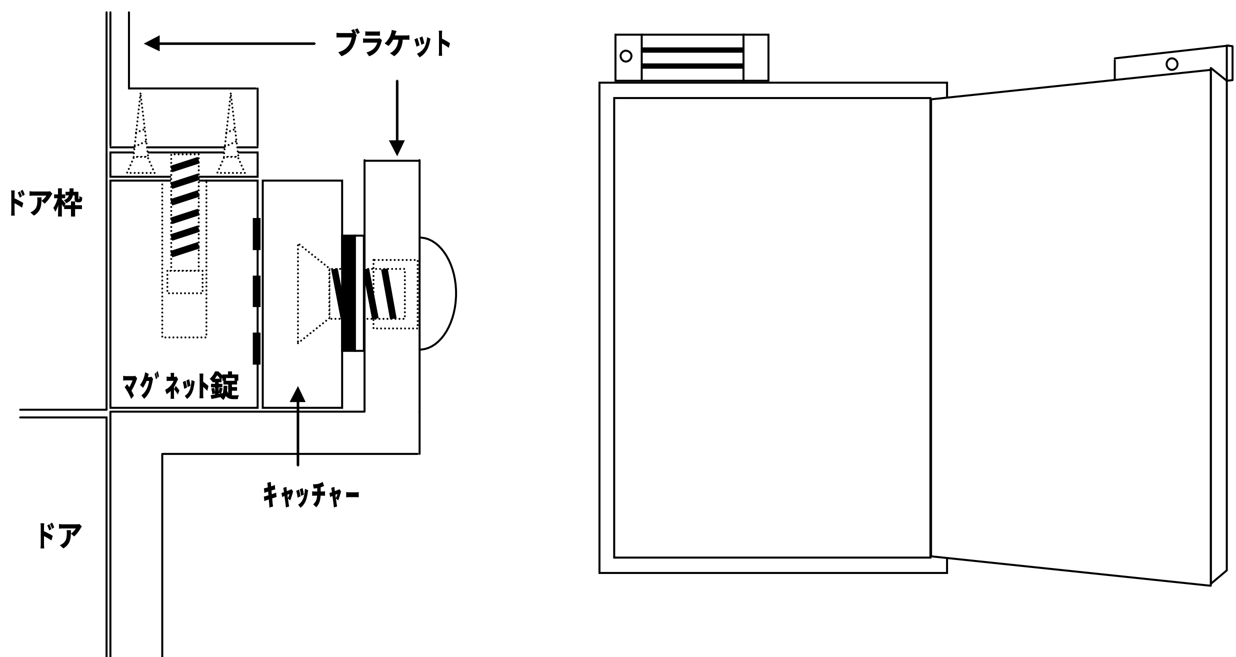
シリアルケーブル	USB－RS485	1本
設定ソフトCD		1枚
取扱説明書		1部

マグネット式電気錠 MC150H 取付参考図

外開きドア



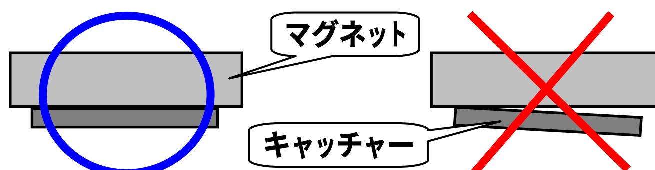
内開きドア



☆キャッチャーは、回り止め用ピンで回転しないようドアに固定してください。
☆設置ドアによってブラケットが必要となりますので、設置ドアに応じて製作してください。

マグネット式電気錠ＭＣ１５０Ｈ取付け時の注意

マグネットの吸着面とキャッチャーはドアが閉まった状態で均一に密着するようにキャッチャーにある程度の自由度を持たせて取付けてください。
密着していないと吸着力が低下し、マグネットから振動音が出ることがあります。

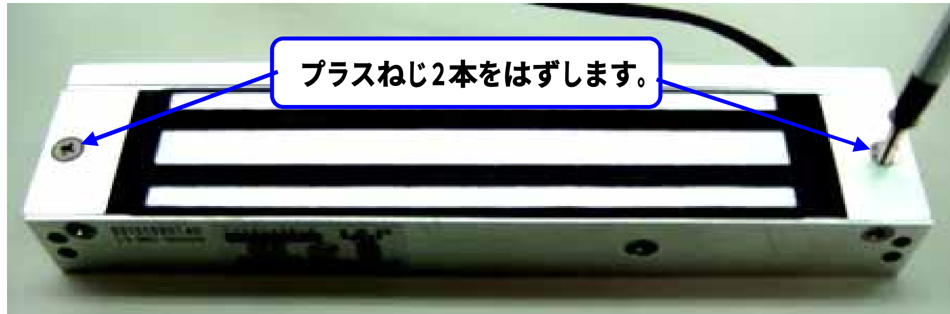


配線用のケーブルは#0.5以上のものを使用し、3m以内で接続してください。
ケーブルが細い時、配線が長い時などには電圧降下により正常に動作しない場合があります。
動作中多少の発熱がありますが室温＋１０゜Ｃ程度は異常では有りません。

株式会社 アイテックス

マグネット式電気錠ＭＣ１５０Ｈ取付け要領

1



2



3



キャッチャーには左右、裏表の方向性があります。
キャッチャーを枠に固定したら外した時の反対の順に組み立てます。

※これは電気錠を内開き式ドアの外側に設置した場合に外からレンチで電気錠を外されるのを防止するためです。

株式会社アイテックス

カードキーシステム　MODEL FS 2011A　設置ガイド

1 はじめに
本ガイドの内容を良くお読みになり、ご理解の上本システムを正しく設置頂きますようお願い致します。

2 接続



開錠スイッチ

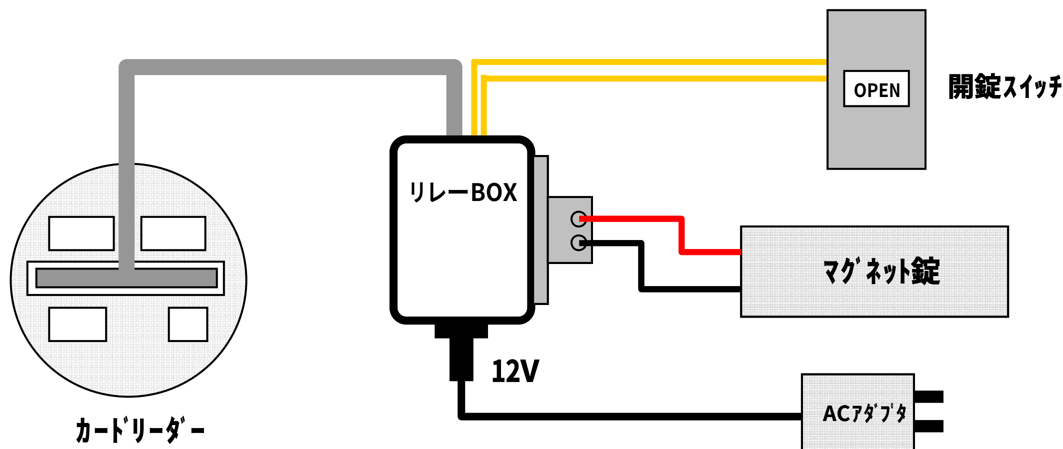


カバーをはずし、ネジを緩めて電線を穴に差込みネジを締めます。
※穴は上下どちらでも可

マグネット錠



細いマイナスドライバーで穴下のスイッチを押しながら電線を穴に差込みます。



上図と写真のようにカードリーダー、リレーBOX、マグネット錠、開錠スイッチ、ACアダプタを接続します。
※コネクタ、電線が確実に接続されていることを確認してください。
※ケーブルが短い場合は同等もしくは同等以上の太さの電線を繋いで接続してください。

3 取付け
カードリーダーは下図のように右側面の小さい角穴に細いマイナスドライバーを差し込み、黒い部分を少し押し込むと爪が外れてキーのカバーをはずすことが出来ます。



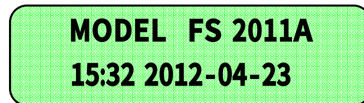
角穴から爪を押し込みます



2個の穴を使いネジで固定します

開錠スイッチの取り付けはドア内側の操作しやすい位置に取付けます。
電気錠の取り付けは別紙をご覧ください。
リレーBOXは軽量なので付属の両面テープで近くに貼り付けるか、ケーブルと一緒に束ねて固定します。

4　通電チェック
配線及び設置が完了しましたら再度チェックを行い、間違いが無ければＡＣアダプタをコンセントに差込み通電します。
配線に異状が無ければカードリーダーはピッと１回鳴ってセルフチェックの画面が出た後、数秒後に下図のような待機画面になります。

待機画面


← 現在日時

このときにはマグネット錠がＯＮしてドアは施錠された状態となっています。

5　動作テスト
カードによる開錠テストは付属のカードをテンキーの前に当てるとピッと鳴り、赤ＬＥＤが緑に変わってマグネット錠がＯＦＦして開錠状態となります。

パスワードによる開錠テストは待機画面から＃を押し、１、２、３、４と押した後にもう一度＃を押すとピッと鳴り、ＬＥＤが緑に変わり開錠します。

開錠スイッチによるテストはドアの内側に設置された開錠スイッチを押すとマグネット錠がＯＦＦして開錠状態となります。

どの方法で開錠しても操作後3秒間マグネット錠はＯＦＦしますが、その後はＯＮして施錠状態となります。
※開錠している時間は初期設定では3秒ですが、設定で長さを変更することが出来ますので詳しくは設定ガイドをご覧ください。

カードキーシステム　MODEL FS 2011A　操作ガイド

1 はじめに

本ガイドの内容を良くお読みになり、ご理解の上本システムを正しくお使いください。
お買い上げの際には設定パスワード、開錠パスワードとカード５枚が登録されており、このまま使用することは可能ですが、各パスワードについては安全上お客様にて設定の変更をお願い致します。
⇒　設定ガイド参照

2 カードによる開錠操作

①開錠操作を受け付ける待機状態の時は右画面01の表示となっています。

画面01（待機）

MODEL　FS 2011A
15:32 2012-04-23

②カードをテンキーの部分に当てると、右画面02のようにカード番号が表示され開錠します。
(付属の５枚のカードは登録済み)

画面02（ｶｰﾄﾞによる開錠）

Unknow　00XXXXXX
Unknow　　　In 1

③開錠時間が経過すると右画面03の待機状態に戻ります。
(開錠時間は初期値３秒に設定済み)

画面03（待機）

MODEL　FS 2011A
15:32 2012-04-23

3 パスワードによる開錠操作　（お買い上げ時は１２３４が設定されています。）

①待機状態で＃を押すと右画面04になり開錠パスワード入力画面となります。

画面04（開錠ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ入力）

PIN　Door 1
PWD : --------

②開錠パスワード（お買い上げ時は1、2、3、4）と＃を押すと右画面05を表示して開錠します。

画面05（ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞによる開錠）

PWD Pass!

③開錠時間が経過すると右画面06の待機状態に戻ります。

画面06（待機）

MODEL　FS 2011A
15:32 2012-04-23

4 開錠ボタンによる開錠操作（ドア内側よりの開錠）

①ドアの内側に設置された開錠ボタンを押すと右画面07の表示に変わり開錠されます。

画面07（開錠ﾎﾞﾀﾝによる開錠）

Button　　B.1

②開錠時間が経過すると右画面08の待機状態に戻ります。

画面08（待機）

MODEL　FS 2011A
15:32 2012-04-23

カードキーシステム MODEL FS 2011A 設定ガイド

1 はじめに

お買い上げの際には設定パスワード、開錠パスワードとカード5枚が登録されており、このまま使用することは可能ですが、各パスワードについては安全上お客様にて設定の変更をお願い致します。

基本設定では各パスワードの変更方法、カードキーの追加、削除について説明されており、上級設定ではバックライトや開錠時間の設定などが行えます。

2 基本設定

設定パスワードの変更 (お買い上げ時は1、2、3、4が設定されています)

設定パスワードとはカードの追加、削除などの設定を行うモードに入るためのパスワードです。
操作の途中で前に戻りたいときや間違えたとき、終了したいときは＊を押すと元に戻ることが出来ます。

①待機状態では右画面01が表示されています。

画面01 (待機)
MODEL FS 2011A
15:32 2012-04-23

②＊、＃の順に押すと右画面02のパスワード入力画面となります。

画面02 (ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ入力)
GO menu
PWD: ------

③現在のパスワード(お買い上げ時は1、2、3、4)と＃を押すと右画面03の設定モードになります。

画面03 (設定ﾓｰﾄﾞ)
Clock 1 ＜
Card 2 ↓

④下方向へ移動させるボタン9を押して(上方向は7)右画面04のSystem 3の位置で＃を押します。

画面04 (設定ﾓｰﾄﾞ)
Card 2 ↑
System 3 ＜↓

⑤右画面05が表示されますので9を押して下方向へ移動させます。

画面05 (ｼｽﾃﾑ設定)
Model ID 1 ＜
Decode type 2 ↓

⑥右画面06が表示されたらMenu PWD 7 の位置で＃を押します。

画面06 (設定ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ変更)
Rec. option 6 ↑
Menu PWD 7 ＜↓

⑦右画面07の現在の設定パスワード入力画面に変わるので現在のパスワード(お買い上げ時は1、2、3、4)と＃を押します。

画面07 (現在のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ)
Modify PWD
Old PWD

⑧右画面08の新しい設定パスワード入力画面に変わりましたら、1～6桁の新しい設定パスワードと＃を2回入力します。

画面08 (新しいﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ)
Modify PWD
New PWD

⑨右画面09のようにＯＫと表示され設定が完了し、

画面09 (設定完了)
OK

設定モードに戻ります。

画面10 (ｼｽﾃﾑ設定)
Rec. option 6 ↑
Menu PWD 7 ＜↓

⑩＊を2回押すと右画面11の待機状態に戻ります。

画面11 (待機)
MODEL FS 2011A
15:32 2012-04-23

設定パスワードを忘れると設定モードに入れなくなりますので必ず記録しておくようにしてください。

カードの追加

①基本設定①、②の手順で設定モードに入り、右画面12のようにCard 2の位置で＃を押します。

②右画面13が表示されたらAdd card 1 の位置で＃を押します。

③右画面14、15が交互に表示され、カードが手元にある場合はカードをキーボードの位置に当てます。
カードが無い場合は＃を押した後にカードに印字されたカード番号8桁と＃を押します。
カード番号が不明の場合は待機状態でカードを当てると登録の有無に関係なくカード番号が表示され確認できます。

④右画面16が表示されたら＃を押すと登録が完了し、2035年12月31日までこのカードは有効となります。

⑤次に右画面17のカード設定画面に戻りますので、続けてカードを登録する場合は②～くり返してください。
終了する場合は＊を2回押して待機状態に戻します。

画面12（設定ﾓｰﾄﾞ）

Clock	1	
Card	2	<↓

画面13（ｶｰﾄﾞ設定）

Add card	1	<
Update card	2	↓

画面14（ｶｰﾄﾞ入力）

Stamp the card.

画面15（ｶｰﾄﾞ番号入力）

Prees # to input

画面16（ｶｰﾄﾞ有効期限）

1 APP 00 2 APP 00
Valid 35-12-31

画面17（ｶｰﾄﾞ設定）

Add card	1	<
Update card	2	↓

登録したカードは必ずカード番号を記録してください。カードを紛失した場合に削除できなくなります。

カードの削除

①基本設定①、②の手順で設定モードに入り、右画面18のようにCard 2の位置で＃を押します。

②9を押して下へ進みDel card 3 の位置で＃を押します。

③右画面20、21が交互に表示され、カードが手元にある場合はカードをキーボードの位置に当てます。
カードが無い場合は＃を押した後にカードに印字されたカード番号8桁と＃を押します。

④右画面22が表示されたら＃を押すと登録が削除されます。

⑤次に右画面23のカード設定画面に戻りますので、続けてカードを削除する場合は②～くり返してください。
終了する場合は＊を2回押して待機状態に戻します。

※登録されていないカードを削除しようとした場合は1度右の画面24が出て画面23の削除画面に戻ります。

画面18（設定ﾓｰﾄﾞ）

Clock	1	
Card	2	<↓

画面19（ｶｰﾄﾞ設定）

Update card	2	↑
Del card	3	<

画面20（ｶｰﾄﾞ入力）

Stamp the card.

画面21（ｶｰﾄﾞ番号入力）

Prees # to input

画面22（ｶｰﾄﾞ削除）

Unknow 00XXXXXX
Unknow Delet

画面23（ｶｰﾄﾞ設定）

Update card	2	↑
Del card	3	<

画面24（ｶｰﾄﾞ未登録）

Card : 0000XXXXXX
Nonreg. card

開錠パスワードの変更　（お買い上げ時は１２３４が設定されています。）

①基本設定①、②の手順で設定モードに入り、右画面25のようにDoor　4の位置で＃を押します。

画面25（設定ﾓｰﾄﾞ）
System　3　↑
Door　4　<↓

②右画面26が表示されたらDoor 1　1 の位置で＃を押します。

画面26（開錠設定）
Door 1　1　<
Door 2　2　↓

③9を押して下へ進み、右画面27のようにAccess PIN　A の位置で＃を押します。

画面27（開錠ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ変更）
Duress PIN　9　↑
Access PIN　A　<↓

④右画面28に変わりましたら現在のパスワード（お買い上げ時は1、2、3、4）と＃を押します。

画面28（現在のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ）
Modify PWD
Old PWD

⑤右画面29の新しい設定パスワード入力画面に変わりましたら、1～6桁の新しい設定パスワードと＃を2回入力します。

画面29（新しいﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ）
Modify PWD
New PWD

⑥右画面30のようにＯＫと表示され設定が完了し、

画面30（設定完了）
OK

設定モードに戻ります。

画面31（開錠ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ変更）
Duress PIN　9　↑
Access PIN　A　<↓

⑩＊を3回押すと右画面32の待機状態に戻ります。

画面32（待機）
MODEL　FS 2011A
15:32 2012-04-23

開錠パスワードを忘れるとテンキーによる開錠及び開錠パスワードの変更が出来なくなりますので必ず記録しておくようにしてください。

3　上級設定

ここでの設定は機器の取扱になれた方向けの説明となり、設定モードに入っている状態からの説明です。

時間設定
Clock　1　⇒　Set　time　で時間、分、年、月、日の順に設定して＃で確定します。

バックライト設定　（初期値　AUTO）
System　3　⇒　Light mode　3　⇒

NC.　1	常時ＯＦＦ
NO.　2	常時ＯＮ
AUTO	操作時のみＯＮ
SetTime	ON/OFFの時間を設定可能

開錠モード　（初期値　Only card 1）
Door 4 ⇒ Door 1 1 ⇒ Entry type 3 ⇒

Only card1	カード、パスワードのどちらでも開錠可能
Only PIN2	パスワードのみ開錠可能

開錠時間（初期値　003秒）
カードやテンキーで開錠操作をした時にマグネット錠が開いている時間を設定します。
最大254秒まで設定可能です。

Door　4　⇒　Door 1　1　⇒　Open　Time　6　を選択し、画面33の下段右の３桁に開錠させる時間（秒数）を入力します。

画面33
Open Time (01) Sec
Input(0-254) 003

4 設定表

時間設定	Clock 1 → Set time
ｶｰﾄﾞの追加	Card 2 → Add card 1
ｶｰﾄﾞの削除	Card 2 → Del card 2
ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ設定	System 3 → Light mode 3
設定ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ変更	System 3 → Menu PWD 7
開錠ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ変更	Door 4 → Door 1 1 → Access PIN A
開錠ﾓｰﾄﾞ	Door 4 → Door 1 1 → Entry type 3
開錠時間	Door 4 → Door 1 1 → Open Time 6

カードキーシステム　MODEL FS 2011A　ソフト設定ガイド

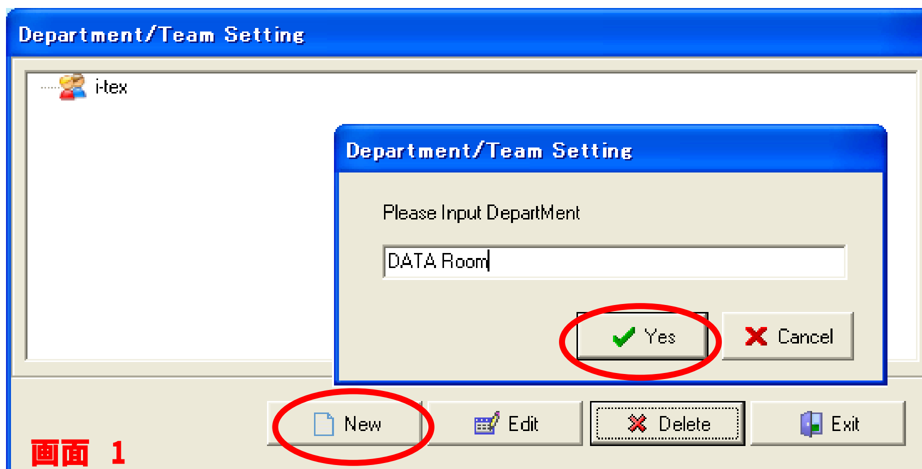
1　はじめに
本ソフトを使用し、登録するカード情報をパソコンに入力後、一括してカードリーダーに転送することで簡単に設定が完了します。
また、カードリーダーの破損、故障、増設などの場合には、保存した設定内容を新しいカードリーダーに転送することで簡単に複製が可能です。

2　ここで出来ること
カードリーダーの液晶表示部に会社名などを表示できます。
カードに名前をつけられ、開錠したときに表示部に表示されます。
登録リストを製作して一括で設定が出来ます。
登録リストでカードの有効／無効を決め、一括で上書きできます。(削除はリーダーで1件ずつ行います)
カード毎に有効期限を設定できます。

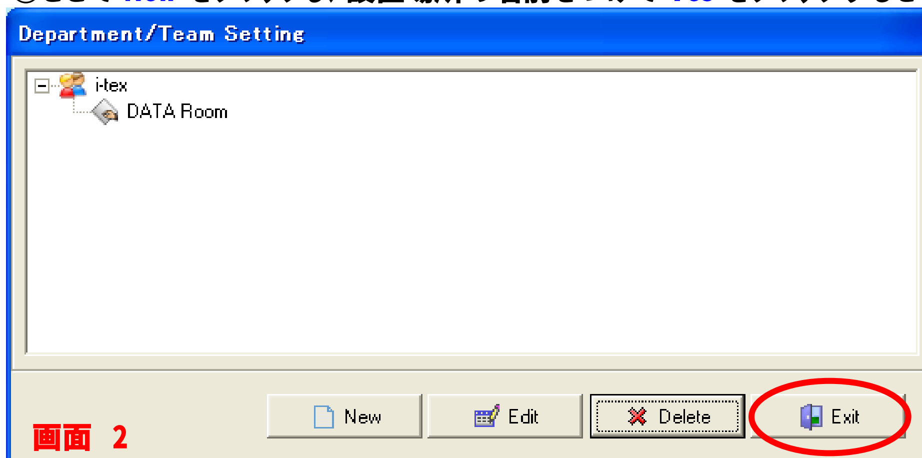
3　インストール
①付属のＣＤより設定ソフトＤＡＴＡを開き、setup (10.7)　を実行します。
②Next> をクリックして次画面に進みます。
③ここでインストールする場所を選択しますが表示されている場所でよければ Next> で次の画面に進みます。
④上段に使用者名、下段に会社名などを必ず入力して Next> で次へ進みます。
⑤フォルダと使用者が単独か複数かを選択して Next> で次へ進みます。
⑥Next>　Finish　で完了し、デスクトップにアイコンが表示されます。

4　ソフトの起動
①デスクトップの Access control system　のアイコンをクリックして起動します。
②パスワード入力画面が表示されますがそのまま OK をクリックしてください。

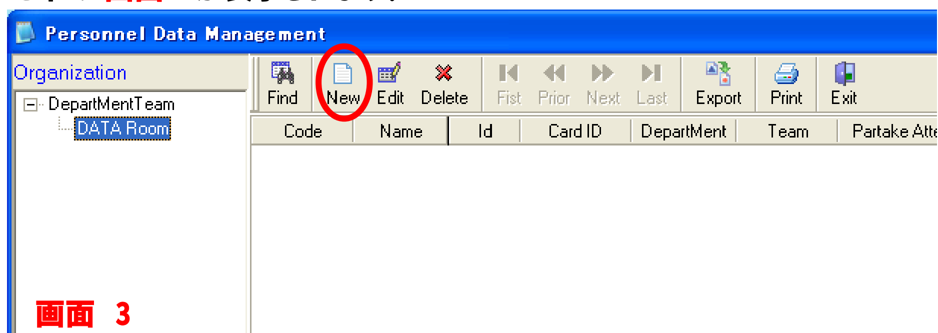
5　初期登録作業
①初期画面の左上の System Setting　の中から DepartMent/Team Setting　を実行すると下の画面1が表示され、インストール時に入力した会社名が表示されます。



②ここで New をクリックし、設置場所の名前をつけて Yes をクリックすると下の 画面2 が表示されます。



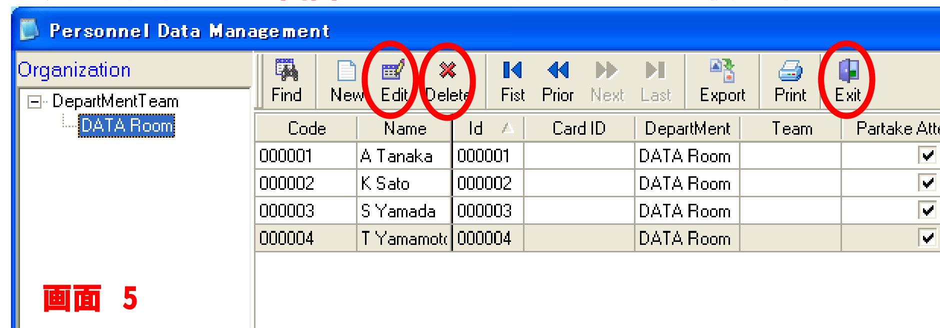
③Exit で元の画面に戻り、左上の System Setting の中から Personal Data Management を選択すると下の 画面3 が表示されます。



④New のアイコンをクリックすると下の 画面4 が表示されます。

Personnel Data Edit
Information
Id 000001
Code 000001
Name A Tanaka
Sex
DepartMent DATA Room
Team
Position
Telephone
Partake Attendance
Address
画面 4
Reamark

⑤この 画面4 では Name (名前) と DepartMent (設置場所) の欄に必ず入力して Yes をクリックすると登録され、続いて入力できます。
入力した結果は下の 画面5 のように登録され、カードは後で引き当てます。

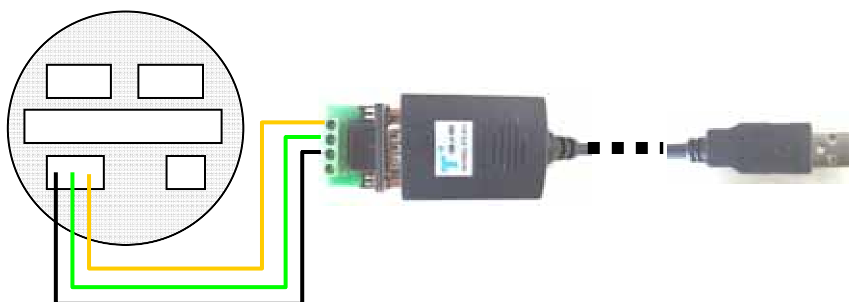


Code	Name	Id	Card ID	DepartMent	Team	Partake Atte
000001	A Tanaka	000001		DATA Room		☑
000002	K Sato	000002		DATA Room		☑
000003	S Yamada	000003		DATA Room		☑
000004	T Yamamot	000004		DATA Room		☑

変更、削除は対象となる行をダブルクリックし、 Edit または Delete で行います。
⑥これでデータの作成は完了しましたので Exit で初期画面に戻ります。

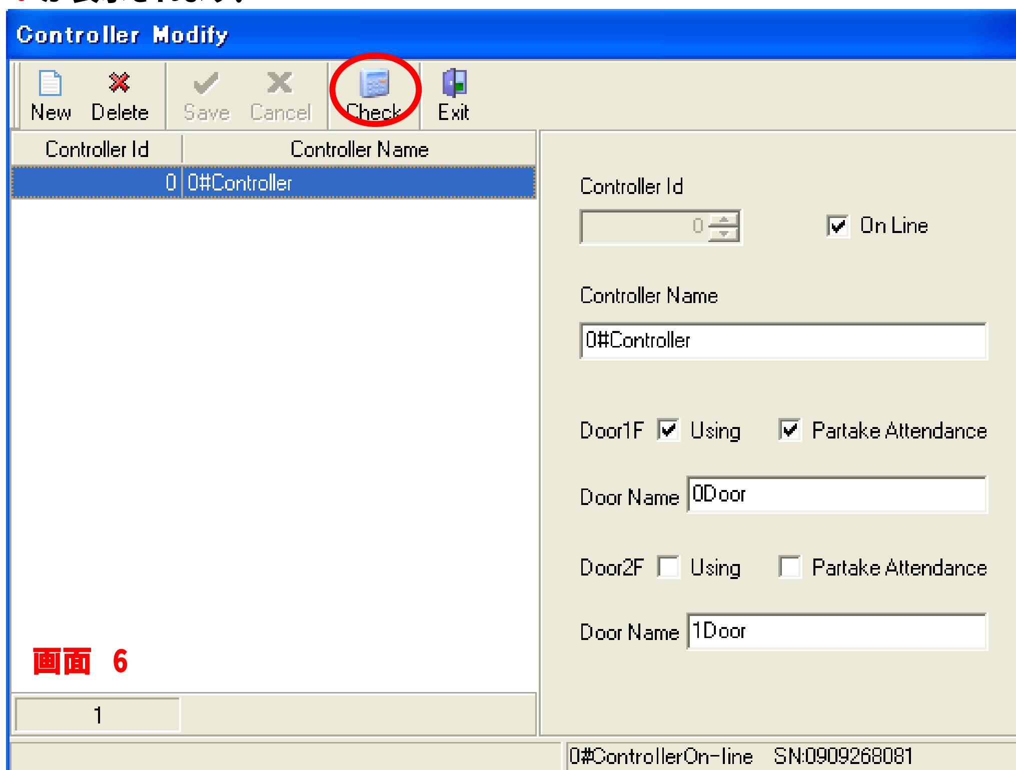
6 カードリーダとの接続

ＵＳＢ－ＲＳ４８５シリアルケーブルでパソコンとカードリーダーを接続します。
①ケーブル先端の小さいコネクタを下図のようにカードリーダーの裏側に接続します。



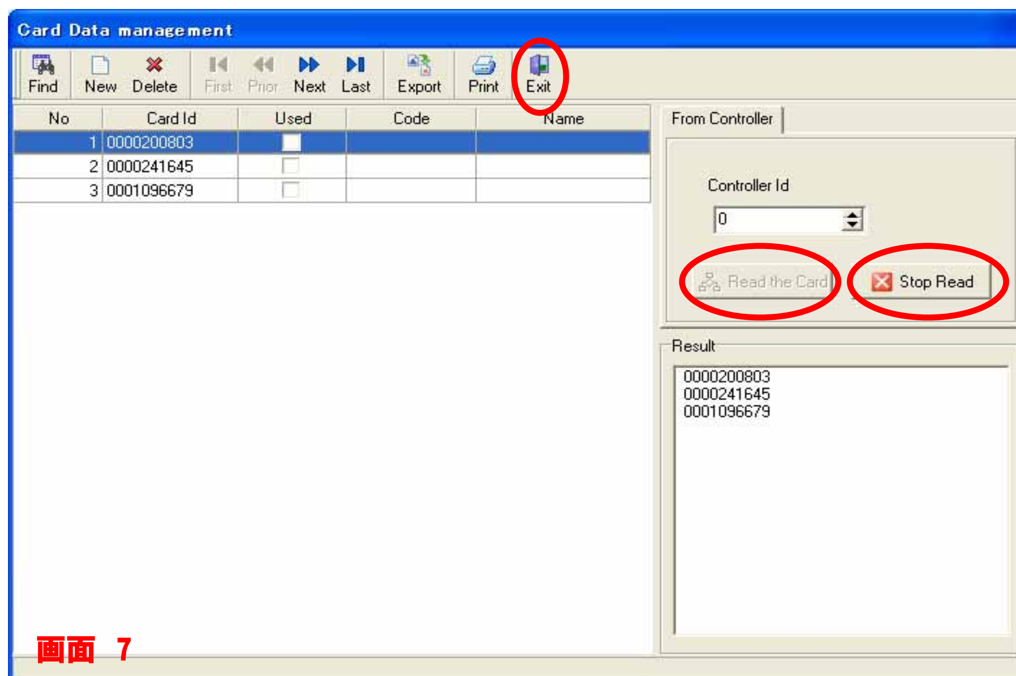
②パソコンにＵＳＢケーブルを接続し、新しいハードウェアと認識された場合はドライバーがインストールされていないので、設定ソフトＤＡＴＡ フォルダ内にある PL-2303 for Windows Vista 又は PL-2303 for Windows XP を開いてドライバーのインストールを行います。

③ソフトの初期画面で Control/Card management ⇒ Transmit port setting でCOMポート番号がケーブルを接続したポート番号と一致しているか確認し、相違の場合は変更して通信速度は９６００と表示されますのでそのままでＯＫです。
ケーブルが接続されたポートの確認方法は マイコンピューター を右クリックし、フロパティ ⇒ ハードウェア ⇒ デバイスマネージャー の順に開き、ポート(COMとLPT) を展開して USB-to-Serial Comm Port の部分に表示されている番号がケーブルが接続されたポート番号です。
④ケーブルが接続されたらカードリーダーをパソコンに認識させる必要があり、初期画面から Control/Card management ⇒ Controller management ⇒ Add new cotroller の順に開くと下の 画面6 が表示されます。



⑤ Check をクリックすると右下に接続されているカードリーダーのIDが表示され、接続されている確認できます。

7 カードのIDを登録する
①Control/Card management ⇒Card deta management で下の 画面7 が開き、Read the card をクリックしてカードリーダーにカードを順に当てるとカードのNoを読み込みます。
カードNoとデータを後で"関連付け"させるので必要枚数を読み込ませてください。
②読み込みが完了したら Stop Read で終了し、Exit で初期画面に戻ります。



8　登録データーとカードを関連付け、リーダーに転送する

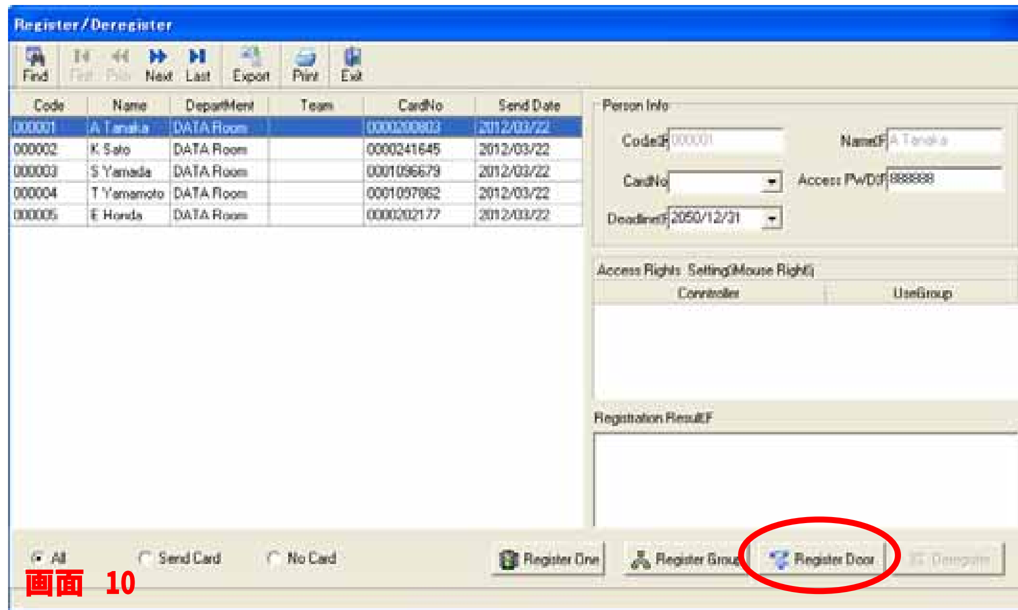
①Control/Card management　⇒ Card receive management　で下の 画面8 が開き、Register Group　をクリックすると 画面9 が開きます。

画面　8

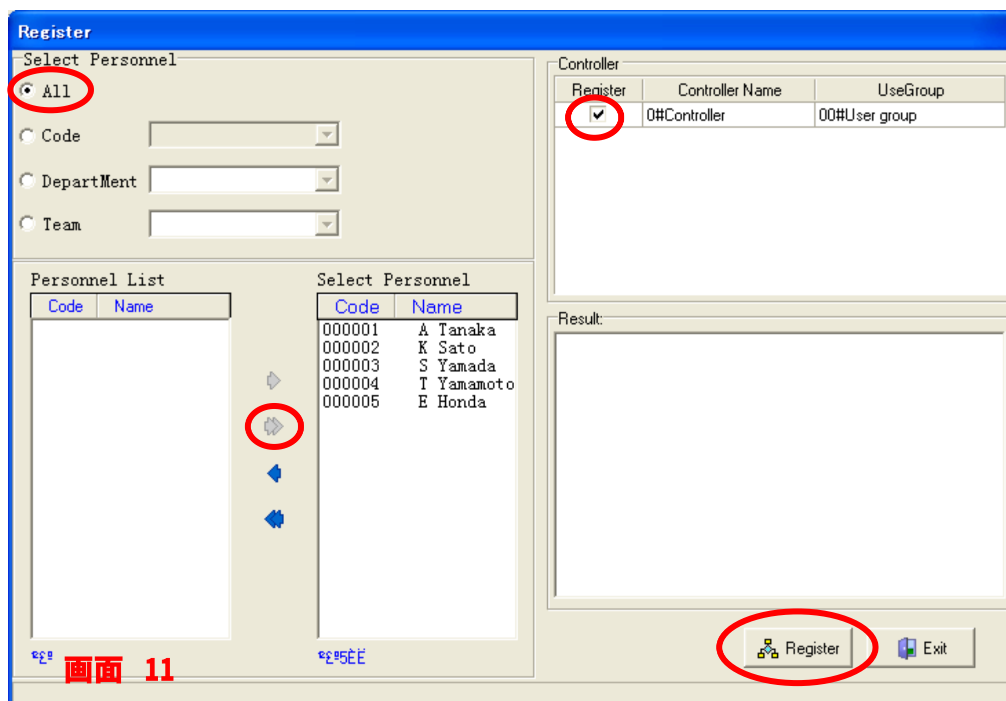
② 画面9 の 右向き二重矢印 を上下共にクリックして左側のデータすべてを右側に移動させます。

画面　9

③移動が完了したら、 画面9 の右上の Register をクリックすると上下のデーターは合成され、カードリーダーに転送されて、Exit で戻ると下の 画面10 のように関連付けられたデータのリストが表示されます。
これでデータの書込みは完了しました。



9 別のリーダーにデーターを転送して複製する
①別のカードリーダーを接続し、画面6 で Check をクリックすると 2台目のリーダーが登録されます。
②次に 画面8 で Register Doo r をクリックすると下の 画面11 が表示されます。



③ All を選択し、右向き二重矢印 で左側のリストをすべて右側に移し、転送したいカードリーダーにチェックして Register で一括して転送されます。

10 データーを追加する場合
①データの追加は 画面3、4 で New を使ってデーターを追加し、画面7 で必要な枚数のカードを登録します。
② 画面8 から 画面9 へ進み、新規登録と同じ手順でデーターを追加して書込みます。

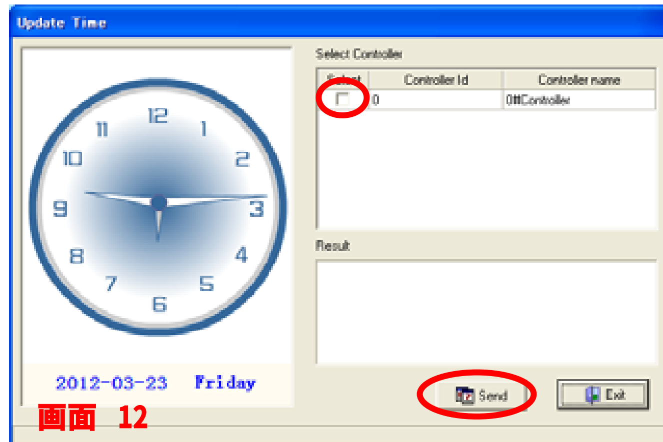
11 データを削除する場合
① 画面10 で削除したい列を選択して Deregister をクリックします。
カードNoと転送日時の関連付けのみが解除されますがカードNoは登録されたまま残っています。
② 画面5 に戻り、カードNoを削除したデータを選択して Delete で削除します。
ここではカードと関連付けされているデータは消せないので先に 画面10 で関連付けを解除しておきます。

③ 画面8 で Register Doo r をクリックすると 画面11 が表示されるので All を選択し、右向き二重矢印で左側のリストをすべて右側に移し、転送したいカードリーダーにチェックして Register でここに表示されているデーターを一括して転送し上書きされます。

12 その他の設定

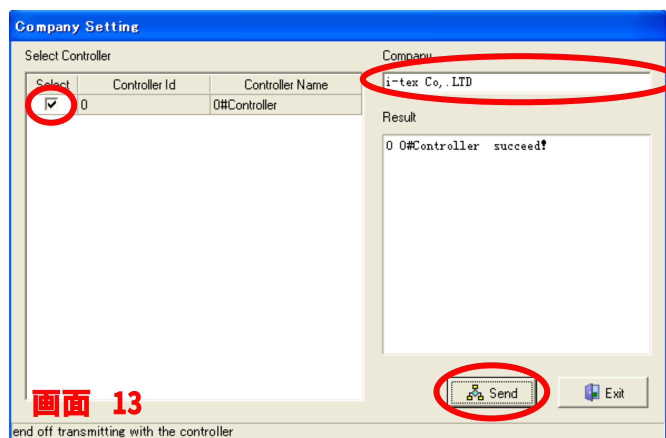
時間の設定

初期画面メニューバーの Control/Card management ⇒ Controler management ⇒ Time Setup で 画面12の時間のセット画面が開き、ここで対象のカードリーダーを選び、 Send で現在のパソコンの時間が転送されます。



会社名などの表示設定

初期画面メニューバーの Control/Card management ⇒ Controler management ⇒ Company Setup で 画面13 が表示され、対象のカードリーダーを選び、右上の欄に会社名などを入力して Send をクリックするとリーダーの待機状態画面で入力した文字が表示されます。
入力文字は英、数、記号など半角文字で１５０文字まで入力可能です。
表示は１５文字までは静止表示しますがこれを超えるとスクロール表示になります。



製品仕様

本　体		
型　式	FS 2011A	
電源電圧	DC12V	
待機電流	30mA	
動作電流	70mA（ﾏｸﾞﾈｯﾄ錠は含まず）	
寸法･重量	H120xW88xD21mm・約140g	
防 滴 性	非対応	
登録枚数	最大500枚可能	

*本体を金属板に取付の場合、磁界に影響を与える為、反応距離が著しく短くなる事がございます。
その場合は非金属で5cm以上の間隔をあけて取付ください。

リレーBOX	
型　式	RL-01
寸　法	H41xW49xD21mm
重　量	約32g

開錠スイッチ	
寸　法	H120xW70xD6mm（突起物を除く）
重　量	約79g

ACアダプター	
型　式	GFP101U-121
電源電圧	AC100-120V
出力電圧	DC12V
最大電流	1A
長　さ	1800mm
重　量	約72g

シリアルケーブル（オプション）	
型　式	USB-RS485
長　さ	1200mm
重　量	約75g

マグネット式電気錠		
型　式	MC150H	
動作電圧	DC120V±15%	
動作電流	300mA	
動作温度	周囲温度+5℃	
吸着磁力	150kg以上	
寸　法	マグネット錠	H40xW166xD20mm
	キャッチャー	H32xW130xD11mm
重　量	約1050g　（キャッチャーを含む）	

カードキー			
名　称	カードキー　厚み1mm	カードキー 厚み2mm	キーホルダーキー
寸　法	H54xW85xD1	H54xW85xD2	H35xW28xD5
重　量	6g	10g	5g
色	白色	白色	青色
反応距離	約3cm以内	約3cm以内	接触

*反応距離は一般的な目安であり、状況により異なります。また、登録数により反応時間は長くなります。

※製品の仕様は予告なく変更する場合がございます